

TEAC

第63期 中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日



ティアック株式会社

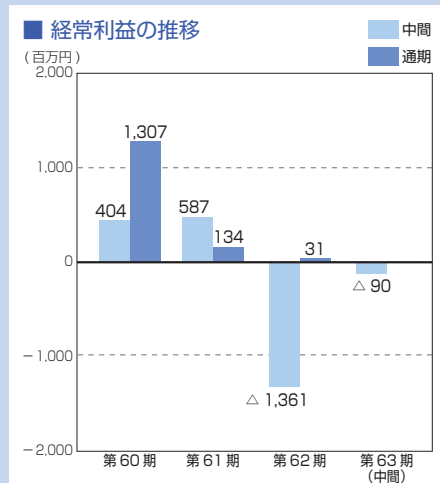
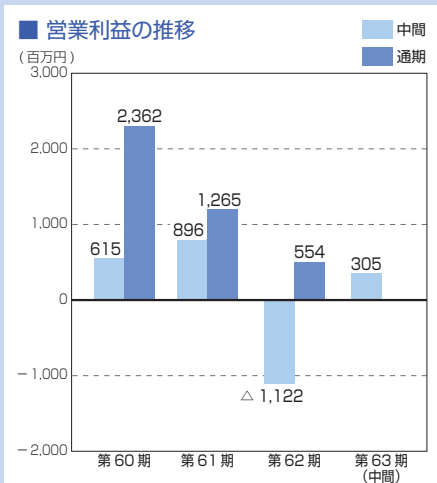
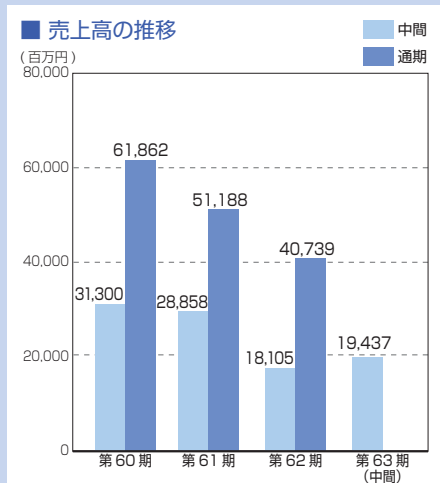


代表取締役社長
英 裕治

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
当社は平成22年9月30日をもちまして、第63期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の中間期を終了しましたので、ここにその概況をご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、好調な新興国経済に支えられ輸出も増勢に転じ、個人消費に持ち直しの動きが見られました。また、米国、欧州など先進国における景気対策の効果もあり、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、期後半は米国経済の景気減速懸念、また大幅な円高が継続しており、先行き不透明な状況が続いております。

連結業績ハイライト

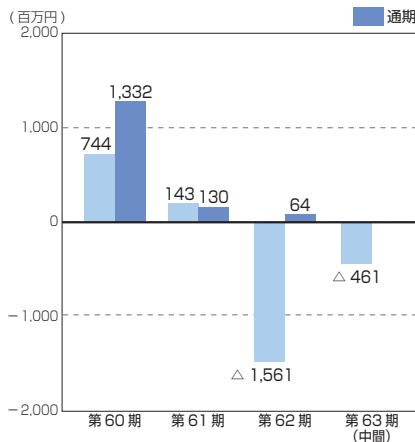


このような状況下において、当中間連結会計期間は、円高による収益減少効果があったにも拘わらず、前年同期と比較し、売上高の増加、営業利益の大幅な増加となりました。これはストレージデバイス事業の貢献が大きく、当中間連結会計期間の売上高は194億3千7百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益は3億5百万円（前年同期営業損失11億2千2百万円）の増収増益となりました。経常損失は9千万円（前年同期経常損失13億6千1百万円）となり、前年同期と比較し、為替差損が1億4百万円増加したものの、主として営業利益の増加により、損失幅は大幅に縮小しました。中間純損失は、特別損失としてマレーシア生産子会社の事業閉鎖に伴う特別退職金2億6千5百万円を計上したことにより、4億6千1百万円（前年同期中間純損失15億6千1百万円）となりました。

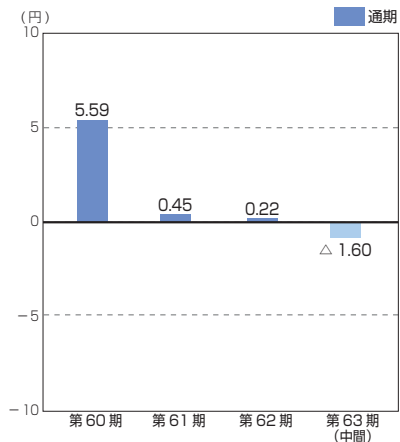
当社は、厳しい現状認識の上に立ち、グループ一丸となって通期での業績回復に努めてまいります。株主の皆様には、今後とも格別のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

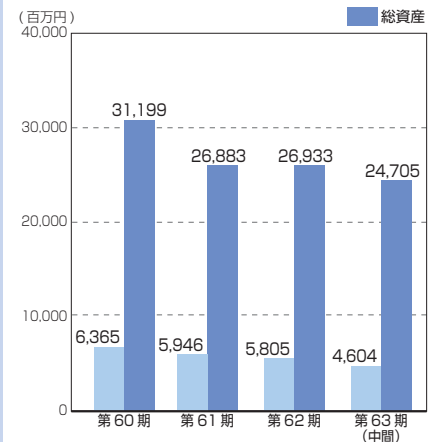
■ 当期純利益の推移



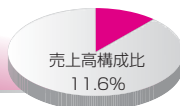
■ 1株当たり当期純利益の推移



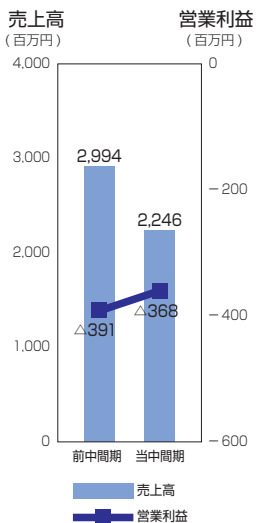
■ 総資産・純資産の推移



コンシューマオーディオ事業



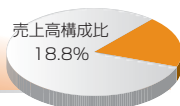
売上高は22億4千6百万円となり、営業損失は3億6千8百万円となりました。高級AV機器分野（ESOTERICブランド）は、海外市場では依然として高級品の低迷が続きましたが、日本市場においてはPCオーディオとの親和性を持たせたセバレードDACおよび一体型ミュージックセンターが好調を維持し、さらに、一体型SACDプレーヤーのフラグシップ機のフルモデルチェンジが高い評価を受けたことと、輸入品が堅調に推移した結果、若干の減収ながら営業赤字幅は縮小しました。一般AV機器分野（TEACブランド）は、特に最大市場の米国でiPod関連商品の客先販売が思うように伸びずに苦戦しましたが、新たな得意先との契約が整う等の活動が見られました。アジア、南アフリカ地区などでの善戦とコストダウンによって、売上高は減少しましたが、営業赤字幅は縮小しました。



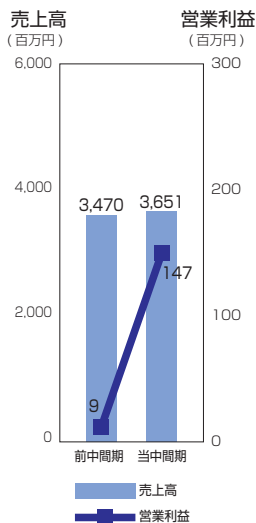
(注) 前中間期につきましては、当中間期との比較のため、新事業区分に組み替えで表示しています。



プロフェッショナルオーディオ事業



売上高は36億5千1百万円となり、営業利益は1億4千7百万円となりました。音楽制作オーディオ機器（TASCAMブランド）は、前連結会計年度に投入した新製品および米国で個人向け音楽制作用録音機器の販売が引き続き好調であること、設備市場向け業務用音響機器の販売も前年同期と比較して需要が回復したことから、また、放送局向け新製品のさらなる投入・拡販により、当中間連結会計期間では、前年同期と比較して増収増益となりました。



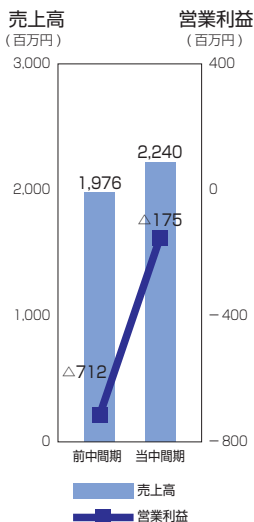
(注) 前中間期につきましては、当中間期との比較のため、新事業区分に組み替えで表示しています。



インフォメーションシステム事業



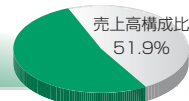
売上高は22億4千万円となり、営業損失は1億7千5百万円となりました。当中間連結会計期間は期初から順調な立ち上がりを見せた計測機器事業が好調を維持、特にLED用サファイヤインゴット引上げのロードセルは大型の案件もあり、販売が増加しました。医用画像記録機器はOEM、ブランド共に販売が順調に推移、航空機搭載用記録再生機器も第1四半期の好調をそのまま維持し、両事業共に販売が増加しました。第1四半期と同様に通話録音機器とディスクパブリッシング事業は低調に終わりました。ソリューション事業は介護支援個別ケア事業（コメントケア）の大型の案件が第3四半期以降にシフトしたことから前年同期との比較では減収減益となりましたが、インフォメーションシステム事業全体では、売上高は増加し、営業赤字幅は縮小しました。



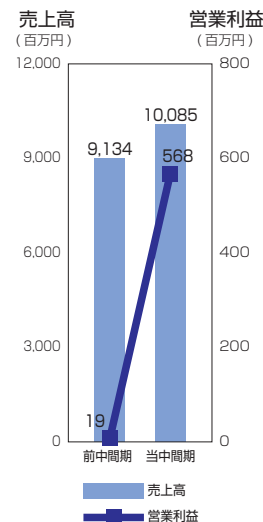
(注) 前中間期につきましては、当中間期との比較のため、新事業区分に組み替えて表示しています。



ストレージデバイス事業



売上高は100億8千5百万円、営業利益は5億6千8百万円となりました。前年同期と比較して、光ディスクドライブ事業の主力であるDVD-ROMは、従来のスリムモデル(12.7mm高)に加え、スーパースリムモデル(9.5mm高)の販売が堅調に推移しました。また、DVD-R/RW/RAMドライブは、第1四半期での市場需要増によって販売が大きく増加し、その結果、ストレージデバイス事業全体としては、前年同期と比較して、増収増益となりました。



(注) 前中間期につきましては、当中間期との比較のため、新事業区分に組み替えて表示しています。



中間連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

	当中間期	前期
	平成22年9月30日現在	平成22年3月31日現在
■ 資産の部		
流動資産	20,075	22,013
現金及び預金	4,651	6,359
受取手形及び売掛金	6,072	7,706
商品及び製品	6,318	4,428
原材料及び貯蔵品	1,763	1,958
その他	1,383	1,702
貸倒引当金	△ 113	△ 142
固定資産	4,630	4,920
有形固定資産	3,496	3,705
無形固定資産	351	404
投資その他の資産	782	810
資産合計	24,705	26,933

	当中間期	前期
	平成22年9月30日現在	平成22年3月31日現在
■ 負債の部		
流動負債	12,274	13,112
支払手形及び買掛金	4,157	4,699
短期借入金	5,337	5,391
1年内償還予定の社債	80	80
1年内返済予定の長期借入金	138	386
賞与引当金	341	142
製品保証引当金	300	357
返品調整引当金	90	101
その他	1,829	1,953
固定負債	7,826	8,015
負債合計	20,101	21,128
■ 純資産の部		
株主資本	9,212	9,674
資本金	6,781	6,781
資本剰余金	1,008	1,008
利益剰余金	1,529	1,991
自己株式	△ 106	△ 105
評価・換算差額等	△ 4,607	△ 3,868
純資産合計	4,604	5,805
負債及び純資産合計	24,705	26,933

Point 1 中間連結貸借対照表

＜総資産＞ 第3四半期以降の販売に向けてのたな卸資産が増加した一方、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少などにより、前期末に比べ2,227百万円減少しました。

＜純資産＞ 為替の円高による為替換算調整勘定の減少、中間純損失の計上による利益剰余金の減少などにより、前期末に比べ1,200百万円減少しました。

Point 2 中間連結損益計算書

＜営業外費用＞ 為替の円高に伴い為替差損が発生したことなどにより、前中間期に比べ138百万円増加しました。

＜特別損失＞ マレーシア生産子会社の事業閉鎖に伴う特別退職金を計上したことなどにより、前中間期に比べ183百万円増加しました。

Point 3 中間連結キャッシュ・フロー計算書

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

当中間期における主な内訳は、プラス要因として、売上債権の減少額1,249百万円、マイナス要因としてはたな卸資産の増加額2,136百万円であります。

中間連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

	当中間期	前中間期
	平成22年4月1日～ 平成22年9月30日	平成21年4月1日～ 平成21年9月30日
売上高	19,437	18,105
売上原価	13,361	12,836
売上総利益	6,075	5,269
販売費及び一般管理費	5,770	6,391
営業利益又は営業損失（△）	305	△1,122
営業外収益	55	73
営業外費用	451	313
経常損失（△）	△90	△1,361
特別利益	28	2
特別損失	379	195
税金等調整前中間純損失（△）	△441	△1,555
法人税、住民税及び事業税	26	15
法人税等調整額	△7	△9
中間純損失（△）	△461	△1,561

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

	当中間期	前中間期
	平成22年4月1日～ 平成22年9月30日	平成21年4月1日～ 平成21年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	△872	△2,178
投資活動による キャッシュ・フロー	△752	△363
財務活動による キャッシュ・フロー	△347	△653
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△259	△90
現金及び現金同等物の増減額 （△は減少）	△2,232	△3,286
現金及び現金同等物期首残高	6,359	7,130
現金及び現金同等物 中間期末残高	4,126	3,844

中間連結株主資本等変動計算書

（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
平成22年3月31日残高	6,781	1,008	1,991	△105	9,674	63	△3,932	△3,868	5,805
中間連結会計期間中の変動額									
中間純損失（△）			△461		△461				△461
連結子会社減少に伴う 利益剰余金減少額			△0		△0				△0
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額（純額）						32	△771	△739	△739
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	△461	△0	△461	32	△771	△739	△1,200
平成22年9月30日残高	6,781	1,008	1,529	△106	9,212	96	△4,704	△4,607	4,604

中間貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

	当中間期 平成22年9月30日現在		当中間期 平成22年9月30日現在
■ 資産の部		■ 負債の部	
流動資産	14,776	流動負債	13,219
現金及び預金	3,438	支払手形	551
受取手形	14	買掛金	2,288
売掛金	7,158	短期借入金	8,413
商品	2,763	1年内償還予定の社債	80
原材料	522	1年内返済予定の長期借入金	138
その他	1,143	賞与引当金	244
貸倒引当金	△ 264	製品保証引当金	89
固定資産	13,392	返品調整引当金	29
有形固定資産	1,988	その他	1,385
無形固定資産	61	固定負債	7,543
投資その他の資産	11,342	負債合計	20,762
資産合計	28,168	■ 純資産の部	
		株主資本	7,309
		資本金	6,781
		資本剰余金	1,008
		利益剰余金	△ 373
		自己株式	△ 106
		評価・換算差額等	96
		純資産合計	7,405
		負債及び純資産合計	28,168

中間損益計算書 (要約)

(単位：百万円)

	当中間期 平成22年4月1日～ 平成22年9月30日
売上高	16,480
売上原価	12,311
返品調整引当金戻入額	11
売上総利益	4,180
販売費及び一般管理費	3,871
営業利益	308
営業外収益	73
営業外費用	264
経常利益	117
特別利益	93
特別損失	99
税引前中間純利益	111
法人税、住民税及び事業税	△ 34
法人税等調整額	△ 0
中間純利益	147

中間株主資本等変動計算書

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計		
資本準備金		その他 利益剰余金	繰越利益 剰余金			その他 有価証券 評価差額金	
平成22年3月31日残高	6,781	1,008	△ 520	△ 105	7,162	63	7,226
中間会計期間中の変動額							
中間純利益			147		147		147
自己株式の取得				△ 0	△ 0		△ 0
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額 (純額)						32	32
中間会計期間中の変動額合計	—	—	147	△ 0	146	32	179
平成22年9月30日残高	6,781	1,008	△ 373	△ 106	7,309	96	7,405

照明と音楽で空間を演出する インテリアオーディオ『SR-LUXi』を発売

2010年5月10日に、LEDライト付き iPod/iPhone 対応サウンドシステム『SR-LUXi』を発売しました。音質はもちろん、音楽を楽しむ空間にもこだわりを持つユーザーをイメージして開発した、“インテリアオーディオ”です。21段階の調光や照射角度調整により、細やかなセッティングが可能です。設定時間から徐々に明るくなる「自然な夜明け」をシミュレートした設定など寝室を快適にする機能が満載です。シンプルなデザインは女性にも好評。発売以来、新聞・雑誌・テレビなど多くのメディアで紹介されています。



手元を明るくしたい時、LEDライトの照射角度を変えられるので便利です。



アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。本アクセサリを iPod または iPhone と使用する場合、無線通信の性能に影響する場合があります。iPod は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。また、本製品には iPod/iPhone は付属しません。

2010年度グッドデザイン賞を受賞しました

TASCAM ブランドのポータブルマルチトラックフィールドレコーダー『HS-P82』が2010年度グッドデザイン賞を受賞しました。テレビ局などプロの現場を細部まで分析して完成した製品です。審査員からも「沢山の機能を適切に整理し、信頼感の高いデザインが coming out of the box」と高い評価をいただきました。



※グッドデザイン賞は、財団法人日本産業デザイン振興会が主催する総合的なデザイン評価・推奨制度です。
<http://www.g-mark.org/>

ドイツ IFA2010 に出展しました

2010年9月3日～8日に、ドイツ・ベルリンで開催された世界最大のコンシューマエレクトロニクスショー『IFA2010』に出展しました。開催50回目を迎える今年は、1,400社が出展し、来場者数は23万人超を記録しました。当社は、TEAC, ESOTERIC, TASCAMの3ブランドから新製品や注力商品を紹介し、海外市場での存在感をアピールしました。



■ 会社の概要

商号 ティアック株式会社 (TEAC CORPORATION)
 本社 〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目 47 番地
 設立 昭和 28 年 (1953 年) 8 月 26 日
 資本金 67 億 8,105 万 8,352 円
 事業年度 4 月 1 日～翌年 3 月 31 日
 代表者 代表取締役社長 英 裕治
 従業員数 単体 466 名 連結 2,755 名

● 主なグループ事業内容

コンシューマオーディオ事業

高級 AV 機器
 一般 AV 機器

プロフェッショナルオーディオ事業

音楽制作オーディオ機器
 特殊イヤホン機器

インフォメーションシステム事業

航空機搭載用記録再生機器
 医用画像記録機器
 計測機器 (トランスデューサー、データレコーダー)
 通話録音機器
 ソリューションビジネス
 介護支援個別ケアシステム
 ディスクパブリッシング機器

ストレージデバイス事業

コンピューター周辺機器
 民生用および産業用製品向けドライブ

● オリジナルブランド

ティアック、タスカム、エソテリック

■ 役員

代表取締役社長	英 裕治
常務取締役	前中 茂志
取締役相談役	坂井 淑晃
取締役	野村 佳秀
取締役	中尾 光成
取締役	前野 龍三
常勤監査役	牧野 信明
監査役	辻 武保
監査役	安井 桂之介
監査役	平岡 繁

当社ホームページのご案内

当社は、ニュースリリースや決算発表資料などを、自社ホームページに掲載しています。

➡ 投資家向け情報



<http://www.teac.co.jp>

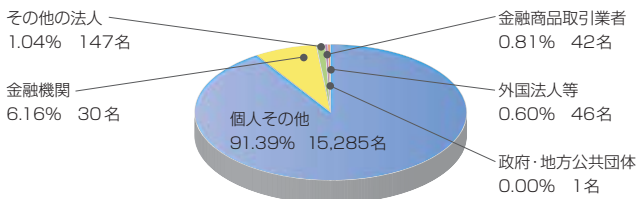
株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000 株
発行済株式の総数	289,317,134 株
株主数	15,551 名

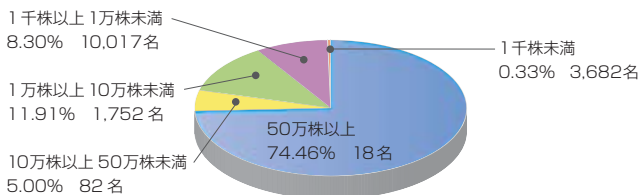
大株主（上位 10 名）

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
フェニックス・キャピタル・ パートナーズ・ワン投資事業組合	177,063	61.20
ジャパン・リカバリー・ファンドⅢ	18,000	6.22
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,433	1.18
明治安田生命保険相互会社	2,201	0.76
東京海上日動火災保険株式会社	2,007	0.69
株式会社損害保険ジャパン	1,342	0.46
ティアック社員持株会	1,340	0.46
株式会社相川プレス工業	1,240	0.42
日本証券金融株式会社	1,235	0.42
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,221	0.42

株式所有者別状況



株式所有数別状況



株式メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日
単元株式数	1,000株
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 特別口座の口座管理機関
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-7111（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部

公告の方法 電子公告により行う。

公告掲載URL <http://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku.html>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告
によることができない場合は、日本経済新聞
に公告します。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

記録の未来を創造するティアック

TEAC

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地

TEL 042-356-9100 (代表)

ホームページアドレス <http://www.teac.co.jp>

